

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年8月1日(金) 四回戦

Nコート 第4試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		29 - 12		チームB
聖カタリナ女子	89	31 - 12	63	県立津幡
愛媛		18 - 18		石川
		11 - 21		

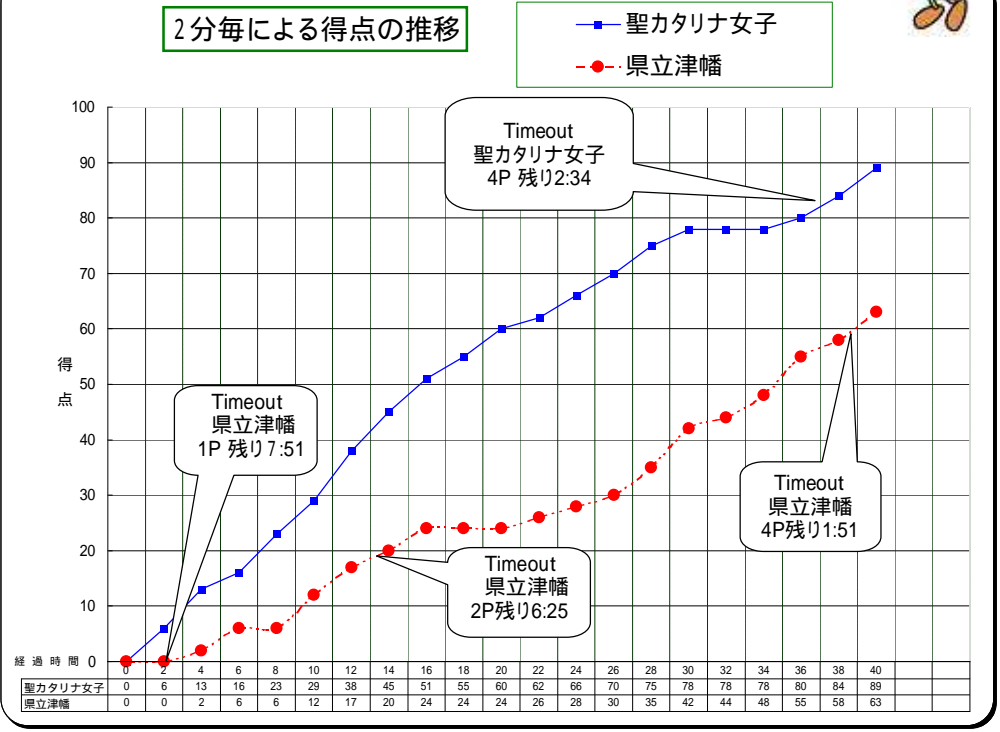
聖カタリナ女子

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	阿部 幸音	X	10	0	2	5	7	0	0	2	0	0	0	0	3	0	29
5	山村 亜衣	/	3	1	2	0	2	0	0	0	0	2	2	1	0	0	8
6	濱口 京子	X	24	1	2	9	11	3	3	0	3	4	1	0	2	2	19
7	樋口 実紀子	/	2	0	2	1	2	0	0	0	0	2	2	1	0	1	10
8	二宮 美里	/	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	1	5
9	大森 彩乃	X	4	0	0	2	6	0	0	1	1	7	2	1	3	1	27
10	倉瀬 美樹	/	10	0	0	5	6	0	0	2	0	3	6	0	0	0	21
11	苗田 未来	X	23	3	4	5	7	4	6	1	4	7	1	0	3	0	29
12	村上 直子	/	10	0	0	3	5	4	4	2	0	0	3	2	1	0	27
13	伊藤 瑛里	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	13
14	山本 有茄	/	1	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	5
15	小澤 美咲	/	2	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1	0	1	1	7
コーチ	一色 建志									0	3	9	2				
出場: ×は先発、/は出場			89	5	14	31	48	12	15	10	11	39	22	5	15	6	200
確率			35.7%	64.6%	80.0%	計		50									

県立津幡

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	田村 香里	X	26	4	14	5	14	4	4	1	1	1	1	2	3	0	38
5	橋本 祐紀	/	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3
6	小宿 咲	X	12	1	6	3	11	3	3	3	3	0	0	2	2	0	28
7	篠田 靖子	/	0	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	1	0	0	7
8	能谷 楨	X	14	0	0	7	12	0	2	3	7	5	2	5	2	0	40
9	八坂 佳枝	X	0	0	1	0	7	0	0	2	1	0	0	2	0	0	24
10	道輪 まなみ	/	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
11	竹内 亜希乃	/	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	5
12	堀 恵里加	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
13	大山 祥乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	鹿肝 むつみ	/	3	1	6	0	5	0	0	0	3	4	2	0	0	0	24
15	東田 愛里沙	X	8	2	3	1	3	0	0	2	2	2	2	0	0	0	23
コーチ	正元 喜博									0	5	5	1				
出場: ×は先発、/は出場			63	8	31	16	54	7	9	18	23	18	12	13	7	0	200
確率			25.8%	29.6%	77.8%	計		41									

2分毎による得点の推移



戦評

前評判どおりの強さをみせる聖カタリナに対し、中村学園、明星学園を接戦の末、破った津幡がどのように戦うか。

両チームともハーフコートマンツーマンで試合開始。聖カタリナは試合当初から高さの利を活かして#6濱口、#11苗田を中心にインサイドを攻めるとともにオフェンスリバウンドからのシュートで得点を重ねる。一方の津幡はドライブインでディフェンスを崩そうとするが、聖カタリナの堅いディフェンスの前に抜けきれない。#4田村、#15東田の3Pなどで応戦する。

第2Pに入っても体勢は変わらない。聖カタリナは#4阿部の1対1などで着実に得点。津幡はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけるが、徐々に引き離され、前半60対24で聖カタリナが大きくリード。

後半も津幡はオールコートの激しいディフェンスで何とか活路を見出そうとする。しかし、聖カタリナはガードのボール運びが安定しており、津幡は#4田村のドライブインや#8熊谷のジャンプシュートで追いつくが、点差は縮まらない。結局、聖カタリナが快勝した。しかし、今大会シード校を破った、津幡の健闘も讃えたい。

主審	山崎 仁士	副審	久米 克弥	戦評	田嶋 武司 (埼玉県高体連)
----	-------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート, 2P: 2ポイントシュート, FT: フリースロー, OF: オフェンス, DF: ディフェンス, TO: ターンオーバー, ST: スティール, AS: アシスト, BS: ブロックショット